

はちろうがた

2010年6月定例会 第104号

# 議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810



浦城 駅からハイキング



おもしろ市場

- ◆ 2ページ ..... 補正予算
- ◆ 3～7ページ ..... 一般質問
- ◆ 8ページ ..... 各委員会報告
- ◆ 9ページ ..... 各組合議会報告
- ◆ 10ページ ..... 請願・陳情／議会の動き

# 6月定例議会補正予算 813万1千円追加を可決

農業・医療・福祉・雇用・教育・消防・林道修繕・生活環境整備

6月定例会は6月9日、10日までの2日間において開催されました。

一般質問者…………… 5名

審議した議案は

条例関係…………… 6件

補正予算関係………… 6件

報 告…………… 3件

人事案…………… 1件

いずれも原案どおり  
可決されました。

## 平成22年八郎潟町議会 6月定例会提出議案

| 議案番号  | 審 議 案 件                                | 結 果  |
|-------|--|------|
| 議案 26 | 八郎潟町町税条例の一部を改正する条例の専決処分について            | 原案承認 |
| 27    | 八郎潟町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について       | 原案承認 |
| 28    | 八郎潟町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案について   | 原案可決 |
| 29    | 八郎潟町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案について      | 原案可決 |
| 30    | 八郎潟町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について     | 原案可決 |
| 31    | 八郎潟町国民健康保険条例の一部を改正する条例案について            | 原案可決 |
| 32    | 平成22年度八郎潟町一般会計補正予算(第1号)について            | 原案可決 |
| 33    | 平成22年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について      | 原案可決 |
| 34    | 平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について     | 原案可決 |
| 35    | 平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について     | 原案可決 |
| 36    | 平成22年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算(第1号)について        | 原案可決 |
| 37    | 平成22年度八郎潟町上水道特別会計補正予算(第1号)について         | 原案可決 |
| 38    | 八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(安田幸子)    | 同 意  |
| 報告 1  | 平成21年度八郎潟町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について        |      |
| 報告 2  | 平成21年度八郎潟町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について |      |
| 報告 3  | 平成21年度八郎潟町上水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について     |      |

### ～いこいの森～ 散策道改修工事



ヒメシャガ・紫花

むらくもの滝周辺の整備をおこないます。

3ヶ年計画の2ヶ年目となっています。  
シャガの花は浦城跡周辺に咲いています。  
ナデシコより大きくアヤメより小さい花。  
森林浴が出来ます。

# 一般質問

## 湖東総合病院の改築計画はその後どうなっているか



近藤美喜雄  
議員

**問** 県は、5月31日県議会で「湖東地区医療再編計画」の骨子を明らかにした。報道によれば、入院機能を100程度、入院診療科目は3、外来診療科目は10、医師数を11人程度としている。

そこでお伺いします。総事業費の見込額、建設費に対する関係4町村の負担割合、運営費に対する負担と赤字運営の場合の考え方はどうか。

今病院は大変厳しく、予想以上に患者受け入れ機能を崩壊させている。いち早く改築計画を明確に宣言すべきだ。また、議会とも課題を協議しながら進めるべきだ。

**町長** 事業規模、建設費及び運営費に対する地元の考え方は、地元農協組織とそれぞれ一定の合意のうえで今後協議に入っていく。

の地元負担については今後考えなければ進まない。この点については交付税措置もあるので検討される。医師確保の問題については、秋大との協議は当然ながら、住民からの情報提供などについても協力いただきたい。

議会との関係については、今後意見調整しながら早期実現に努力する。

### 高度浄水処理施設の維持管理の実績について

**問** 供用開始から1年が経過した。昨年はアオコの発生もほとんど無かったが、農薬や化学物質による原水汚染を考えると「オゾン処理」は大切。年間の維持管理計画に対し実績はどうだったか。

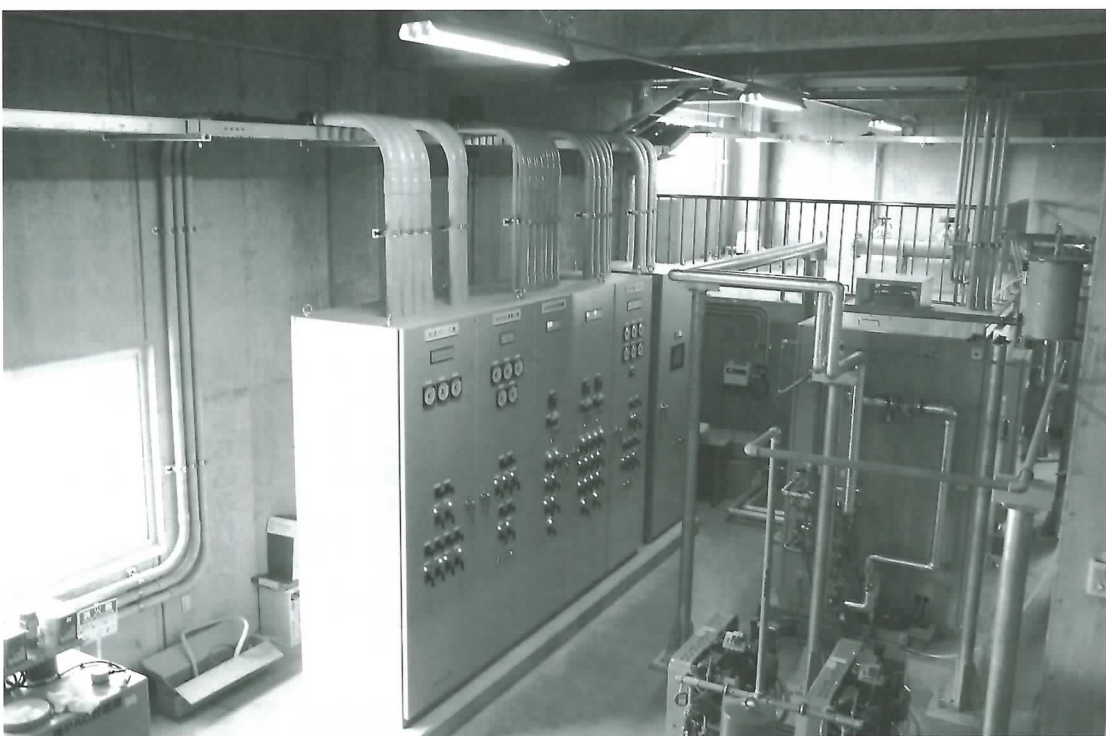
**町長** 財政シミュレーションでは、年間の維持管理費650万円を見込んでいた。21年度は修繕料は無かった。高度浄水処理分の電機料は約360万円と見込まれるので、22年度以降かかる機械の保守委託料を勘案しても、

当初見込んだ650万円の範囲内で十分管理している見込みである。水質の悪化する夏場は毎月水質測定結果などを、広報やホームページで紹介していきたい。

### 直売所方式による町の活性化について

**問** 直売所を活かした町の活性化は意外な効果を

あげると思います。この事業を進めるには、これを育成し、バックアップする町の姿勢が必要です。直売所を核として、生産者と消費者の交流の場を複合的に進めるアイデアがポイントだと思います。検討されてはどうか。



高度浄水処理施設

**町長** おもしろ市場を開催してみ、畑作農家が少なく年間を通じた出店は困難な状況にある。年間を通じた野菜づくりには設備投資も必要のため、既存の直売所などからも協力していただき、農家からも研修してもらいながら、販売の創出と農家所得向上を推進するため、町の支援のあり方を含め直売所の今後のあり方を検討してみたい。

# 一般質問

## 八郎湖の管理型汽水について



北嶋 賢子  
議員



船越の八郎湖防潮水門

**問** またアオコの季節が来ました。06年のアオコの発生による取水停止、完全断水は記憶に新しい

ところです。春先は湖水もきれいに見えますが、大潟村からは年間300tものN(窒素)が八郎湖に排出され、私たち流域からも800tものNが八郎湖へと流れます。かつて台風により海水が流入した際、平成3年のシジミは、一万tも採れ

ました。夏場の一ヶ月、八郎湖一億tの貯水量の10%の海水の流入でシジミが繁殖します。鳥取県のシジミ漁でも産卵期の7、8月は海水の管理をするそうです。県立大学の近藤先生も今は海水の管理が可能だと言います。潟のものが再生し、小魚が増え佃煮に使えます。ブラックバスも海水を嫌います。シジミの生息中はアオコの発生は無かったと言います。八郎湖をきれいにする案としてこの地域から声をあげる必要があると思うが。

**町長** 県は平成20年3月に八郎湖に係わる湖沼水質保全計画の策定に向け検討した結果を公表。海水が入ると、調整池の深部に海水が溜まり酸欠状態となり水質が悪化。湖内の塩分コントロールが困難。農作物、水道、農業水利施設への影響も懸念される事等、海水の導入は行わないとしている。本町上水道の高度処理オゾンとの接触は臭素酸が発生するとされ、八郎湖の管理型汽水は困難と思われる。

### 住宅リフォーム支援事業について

**問** 長引く建築不況と経済の落ち込み打開の為に県の新設した、振興局住宅リフォーム事業への4月の申請は1956件。多くの市町村も県と同時に独自事業を開始、専決処分を追加自治体も発生。経済効果抜群です。地域経済の活性化のために12月定例会に続き再度質問

いたします。  
**町長** 一般住宅件数は平成20年度23件、21年度5件と激減している。地域活性化経済対策臨時交付金を活用、近年に無い程町内業者に対し各種事業を展開し、雇用、仕事の確保に務めている。住宅リフォーム支援事業は考えてませんが、交付金事業を活用し公施設改修事業を計画通り実施。町内業者の仕事の確保に務めて行く。

### 子宮頸ガンワクチンへの自治体の助成について

**問** 日本の20才代女性で発症率の一番高い子宮頸ガンは唯一、ワクチンで予防出来ます。3回の接種で4万〜6万円の費用が必要です。これから先、子どもを産み育む女性にとって、ワクチン接種で予防になるなら、ぜひとも公費の助成が必要だと思います。

**町長** ワクチンの使用については、昨年10月に承認され12月22日から接種出来るようになった。子宮頸ガンの原因は、ほぼ100%ウイルスの感染と言われています。県内では由利本荘市が10才〜45才に一回につき5,000円の助成。潟上市が中学生に全額助成。魁新聞には美郷町が2/3助成と報道された。町としても今後、国県の動向を注視しながら、ワクチン接種の効果の情報収集し接種に対する助成について検討して参ります。尚21年度の子宮ガンの発症は国保加入者1,672人中2件、30.3%の受診率でした。

# 一般質問

## 湖東病院改築問題について



剛 村井 議員

**問** 23年4月には改築開院計画の話が、いつしか立ち消え、昨年の12月5日の秋田魁新聞が、「厚生連が湖東病院の廃止検討」と報道。関係町村に大きな衝撃を与えた。改築どころか、存続をかけた運動へと変化した。

関係町村及び議会の陳情に対し、県と厚生連は「廃止ありきでない」とは言うものの、その具体像が見えない。県では、湖東地区医療再編計画を5月中に策定し、湖東病院のあり方を示すとの事。この程、6月県議会の一般質問(5月31日)に答える形で、その概要が明らかにされ、9月県議会に成案を示すとの事。  
この度、冒頭の行政報告でも示されたが、再度確認の意味で次の事柄を問う。  
①湖東地区医療再編計画の内容と位置づけ ②改築計画 ③改築までの医

療体制  
**町長** ”病院を存続”、医師不足に歯止めがかからない現実から、病院の改築及び施設整備が不可欠との認識は、地元町村・県・厚生連も同じである。  
(注) 再編計画の骨子は、マスコミで大きく報じられ、町民に広く知れわたっていると思われる、掲載を割愛する。

### 本町農業の現状と今後について

**問** 規模拡大による農業の確立を旨とした構造改革路線から、地域再生・自給率向上を主眼とする米戸別所得補償制度モデル事業がスタートした。次の事柄を問う。

①米戸別所得補償制度の下、本町の転作実施状況(申請面積) ②従来の大豆作付中心の転作と比較し、農家経済の推移 ③八郎潟ブランド米と直播栽培試験田の作付実施状況と今後の展望  
**町長** ①米戸別所得補償制度への加入申請は、この6月18日までとなっている。5月31日現在、

150件の申請。転作実施状況は、未確認であるが大豆が前年比47ha減の205ha・加工米が27ha増の66ha・新規需要米が36haとなっている。米の作付の増加が、大豆の団地化を困難にしているので、懸念している。9月議会には、同モデル事業に関する作物別面積を提示する。

②モデル事業の実施により、農業所得向上のため、交付単価の高い新規需要米等の作付が増えると思う。しかし、米価の低迷が予想され、交付金が増えても、農業所得の向上につながることは、考えにくい。町としては、国の施策の動向を見きわめ、県・農協と連携し、農家の所得の向上につながる支援・対策を考えたい。尚、モデル事業による町への交付金額は、概算で米のモデル事業で、1億円。自給力向上事業で、1億3千万円と見込んでいる。  
③環境保全米(ブランド米)は、昨年と同じ2.2haの作付。今年度は、会員10名による自主的な生産販売活動を展開する。昨年の販売数量は、75俵と

少なかったが、消費者に安全・安心な米として認めてもらうため、県に特別栽培米の認定を申請している。今後、販路拡大に向け、保管庫などの設備投資による通年販売体制の確立。消費者に好まれる販売方法の確立が求められる。町でも、販路拡大PRに支援する。将

来的には、多くの農家の参加を得て、生産拡大を計りたい。  
直播栽培試験田の作付は、4.0haであるが、県の実証圃ではない。作付者・作付面積も頭打ちであるが、低コスト・省力化による農家所得の向上に結び付けるため、県・農協に技術指導を依頼し、推進する。



大豆の<sup>はしゅう</sup>播種作業

# 一般質問

## わが町の情報発信力の強化について



島山 金美  
議員

**問** 平時において、防災行政無線放送の内容が聞こえなかった町民のために、すぐ確認できる様、放送と同時に町ホームページトップにある緊急情報欄にネット配信することは

できないか。  
また、緊急災害時の情報伝達の遅れは町民に混乱を招く。あらかじめ募った希望者へのメール配信で行政の情報発信を補う考えはないか。

**町長** 伝達するデータや資料があれば時間を置かずホームページへの掲載は可能。万が一の緊急災害時の職員の初期対応の



町民により早く情報を伝えるために

### 災害時への対応をどこまで想定しているかについて

**問** 先般、大地震や水害などの避難場所がハザードマップで示された。広範囲に亘る避難場所には夜になると明かりが何より必要となる。その際の必要備品はどこから調達するのか、その想定内容については。また、拠点である防災センターに常設の照明では災害時の明るさ確保に不十分と思ふ。さらなる照明設備で、瞬時に明るさを確保できないか。

**町長** 夜の災害時では、常備消防、消防団、役場に備え付けの投光器等を使う。その他にも毛布や災害用のテント等も備え

あり方も検討していく。一斉配信についても、住民向けとなるという課題がある。希望者が多いと器材経費の掛り増しとなるなど、どのようなものが最良なのか、今後調査しなくてはならない。

### 八郎湖という資源とうたせ館の活用について

**問** 観光資源の少ない当町として、ブラックバスであれだけ全国的に有名な八郎湖を積極的にPRしようとしな理由は、あわせて、うたせ館の活用として、環境を守りながらレジャーを楽しむ若者たちが集える施設に変貌させる考えはないか。

**町長** 生態系への影響があることから、

ているが、予測のできない災害への備えは必要と思うので、今後地域防災計画の策定と並行してその協議を深めていきたい。防災センターの照明についても、緊急時は投光器で対応していく。

県でも漁業協同組合等の協力を得ながら駆除作業に取り組んでいるが、町としては、リリースが禁止であること、釣りマナーを守ってもらう事を掲載しながら協力していきたい。  
うたせ館は入館者も少なく、管理人を常駐させてまで必要か、屋外のトイレの委託と合わせて検討している。質問にある、うたせ館を全く違う形にしての活用は考えていない。



湖畔のにぎわいと、環境の保全を

# 一般質問

## 職員互助会に対する 公費「税金」負担について



金 一義  
議員

**問** 魁新聞に「公務員の互助会、一人当たりの公費負担県内市町村が全国」との報道がありました。その記事によりますと公務員への福利厚生事業を行う互助会に対して県内市町村が2008年度に公費負担をする額が、平均一人当たり3万3千886円と47都道府県で最も高いことが総務省の調査で明らかになったとあります。この会の運営に係る掛け金には会員の掛け金とともに公費「税金」が支出されておりこの公費負担に関しては「給料の二重取り」との批判もあり、全国的に問題になっている職員互助会ですが、秋田県内の自治体でも解散等が多くなってきています。

我が八郎潟の場合、資料によりますと平成20年度予算では、公費「税金」の負担額が総額で、34万8千円で会員一人当たりの公費補助額が51万788円とあり公費負担率を40・4%となっております。この数字を見た限りでは我が町の負担額は県内の平均値よりも多くなっております。今年度の予算書にも職員互助会負担金として、特別職を含む各課の歳出に公費が計上されておりますが、我が町の今年度の職員一人当たりの公費負担額はいくらになるのか、公費負担率は何パーセントか、行政改革の名のもと我々町民にそれなりの我慢を強いられておる中で、会員の会費で行うべき職員互助会に対する公費の負担金の見直しをすべきと思いますが見解を求めます。

### 教育委員会の会議録について

**問** 議会の会議録については、議会公開の原則に

**町長** 今年度の公費負担は、293万9千円で職員一人当たりの公費補助額は、4万3千592円で公費負担率が40・1%です。脱退は考えていない。

### 職員の人事異動について

**問** 今年は最近にない5名もの退職者があり、この4月に人事異動が発令

より、会議録を印刷し広く住民に配布しており住民の閲覧にも供されているものと思えます。教育委員会の会議録についても会議規則で会議の公開を規定しているならば、会議録の閲覧、謄写請求権が認められる、という大阪地方裁判所の判決があり、情報公開への要求が高まっておるいま委員会の活動内容、またどのような政策の議論等がされているか我々町民の知りたいところでありますが、会議録の閲覧、請求にははなはだ勇気のいるところであります。提案でありますが、会議録を「委員会だより」としてでも年何回かに分けてでも希望者及び関係者に配布することを要望します。

### 湖東総合病院について今後の見通しは

**問** 昨年12月突如として湖東病院の廃止を検討」の新聞見出しで、地域や患者に大きな不安を与え、また病院廃止案が引き金

されております。人事の異動はその職種により、ある程度長期間の在職を求められるものと、長期に在職させるべきでない職種もあるうかと思えます。そこで、今回どのような基準をもって人事異動に当たったのか、また数年以上も同一部署にあって移動しない職員と、短期に移動している職員もおおるように見受けますが、このような在職者に対してはどのような考え方に基づいて対処しているか、私たち住民サービスにかかわることですので町長の基本的な姿勢をお知らせ下さい。

### 湖東総合病院について今後の見通しは

**問** 昨年12月突如として湖東病院の廃止を検討」の新聞見出しで、地域や患者に大きな不安を与え、また病院廃止案が引き金

となつてから医師の転動や退職による医療縮小が顕著に地域の我々に深刻な事態をもたらしています。「6月現在7人の医師で診察をしている」

6月県議会の平山氏の質問に、知事は「地域住民の健康や生命を守る上で湖東地区に欠くことのない病院」とし病院施設の改築が必要で、県の支援策も検討し、その成案を9月議会に示すと答弁しています。病院再生には先ずもって病院改築無くして前進しません。知事も9月議会に成案を述べるとしていますので、是非とも改築の時期を表明出来るよう今後の取組と町長の考えは。少子化対策には是非とも小児科の医師の確保が急務です、小児科の充実なくしてこの町に住んで子育てする夫婦の多くは期待できません。医師補充の見通しは、**町長** 改築が急務であることは認識している。厚生連、関係町村、県と協議しながら進めて9月まで成案を示す。医師補充は秋田大学、県と協議して行く。

# 常任委員会の

# 審議

## 民生産業 常任委員会

### 総務教育 常任委員会



三倉鼻の中の島

**問** 三倉鼻の土地売却について、面積、時期、単価は、また、中の島の一部は町の財産だが、将来を考えると島までの移動を確保するため、売却する際考慮するべきでは。

**答** 三倉鼻、141番地の雑種地が5,835㎡。雑種地を土地隣接者の同意を得ながら年内の売却予定。単価については現在未定。移動の確保は考慮、検討する。

**問** 教育委員会評価委員の仕事の内容は。また、教育委員も事業評価を行なうが更に評価委員が評価するのか。それから事業に参加しながら評価するのか。

**答** 業務については、教育委員会の事務・事業計画・事業結果についての効果・効率等を評価する。教育委員会事務局でも職員自身が事業実施後に自己評価をしている。さらに事業評価結果については教育委員会としても自己評価を行なっている。そして評価委員が第三者の立場で外部評価を行い、今後の教育委員会の事業の方向性に活かす。H22年度については、年度当初から関心を持って事業を確認・参加することができる。

**問** 今年の国保税は前年と比べて上がり下がりはあるのか。

**答** 今年度は税率の改正がないので、所得の低かった方については税額は下がる事になる。国保税条例にあるとおり、税金の限度額が全体で5万円引き上げられているので、所得の多い方は増額となる場合もある。21年度の確定申告の状況を見ると、前年に比べだいぶ落ち込

んでいるので、全体として下がる事になる。

**問** アオコ遡上防止シルトフェンス設置はいつの時点で行うのか。

**答** 潟上市昭和の馬踏川での発生が一番早いため、それらの情報をもとに、遡上の恐れがある時点で、ただちに行う。その際に設置したフェンスの撤去費用として48万3千円を計上。

1名への県からの補助金として218万円を計上しているが、新たに機械を導入するための補助金にあてられる。

**問** 消防費に計上されている修繕料58万6千円を具体的に。

**答** 第1分団の小型ポンプ修繕費と、防火水槽に係る7箇所の修繕であり、水槽の老朽化による不具合や標識の不鮮明箇所など、湖東地区消防署八郎潟分署で巡回点検している。結果はすべて情報として把握しているので、それらの補修にむけられる。



3区町内の防火水そうと標識



\* 広域組合議会報告

### 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合



八柳 祐孝

○本町の議員  
伊藤秋雄  
八柳祐孝  
北嶋賢子

八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の施設運営の概要についてご報告いたします。

○管理者等 管理者 八郎潟町長

副管理者 井川町長

○議員構成 八郎潟町 3名

井川町 3名

○予算関係

○歳入・歳出 7千153万円

(前年度1・7%の減)

・歳入の内訳

八郎潟町 2千577万7千円 負担金

井川町 2千207万1千円 負担金

交付税分 2千063万5千円

人口割 80% 平等割20%

(人口は本町 6,867人)

井川町 5,654人で算出)

使用料 204万8千円

繰越金等 100万5千円

・歳出の内訳

議会費 21万8千円

総務費 2千49万6千円

衛生費 1千175万9千円

公債費 3千806万3千円

予備費 100万円

となっており、

施設の使用開始から13年を経過し、両町の下水道整備事業が進むなか、し

尿の搬入量は年々落ち込んでおります。また今後、組合の維持管理費についても両町の負担割合が年々増加する傾向にあります。

平成21年度のし尿及び浄化槽汚泥の搬入量は1,652㎏(キログラム)で、平成20年度と比較して110㎏7%の減、開始当初の平成9年度4,451㎏と比較すると2,799㎏、約63%の減の搬入量となっております。

こうしたことから、使用料金は、平成20年度277万5千420円に対し、平成21年度260万1千819円で17万3千601円の減となっております。今後も施設の維持の観点から、し尿の搬入量の推移を見ながら段階的に改定する必要があると報告されております。

現在のし尿搬入量は開始当初の3分の1程度になっており、当初設計された搬入量に対する稼働計画が合わなくなり、既存の機器では運営が困難となつてきており機器の交換が必要とされております。

一方、し尿・汚泥を公共下水道に直接投入する案についても検討してまいります。このため、22年度組合予算に上記の調査として精密機器検査委託料として294万円を計上しております。

なお、償還は平成23年度までとなっております。

以上、八郎潟町・井川町衛生処理施設組合の状況の報告とします。

### 八郎湖周辺清掃組合



島山 金美

○本町の議員  
金一義  
島山金美

平成22年度八郎湖周辺清掃事務組合一般会計予算は、組合市町村から搬入されるゴミの処理に係る施設の維持管理及び、組合債の償還金を措置したものであります。歳入歳出予算の総額を3億3千752万2千円とし、前年度比53.6万2千円で1・6%の増です。

大まかな内訳として、同センターの運転業務委託料1億4千万円、焼却炉などの清掃点検費1200万円です。

歳入におきましては、前年度より値上がり傾向にあるアルミ缶等の売払収入を前年度比285%増の514万9千円として予算計上しているのが大きなポイントであります。

また本年度の、各組合の負担金は、全体で3億69万9千円で本町の負担金は約3千281万円となっております。次に、先の男鹿市議会議員の改選により、組合議会議員14名のうち、4名が新しく議員となり、6月2日に臨時会が招集され、新議長に、男鹿市の杉本博治議員が選出されました。



### 湖東地区行政一部組合



菊地 文人

○本町の議員  
村井剛  
菊地文人  
近藤美喜  
三戸留吉(団長)

3月定例会で、本町の村井議員が副議長に選出されました。

○広域合併問題について  
当初、平成21年度より合併する方向で協議が進められてまいりましたが、諸般の事情により、進行的ための整備計画にまだ入っていない。今後とも内容を精査し十分な議論、検討が必要と思われる。

○歳入の主なもの  
構成市町負担金 5億3千441万4千円  
(前年比3・8%増)

○歳出の主なもの  
職員人件費 4億8千465万1千円  
(全体の85%)

※湖東消防八郎潟分署に特殊消防ポンプ自動車配備される。

○職員 消防65人(八郎潟分署16人) 斎場1人

出動等 (21年1月~12月)

|    | 八郎潟町 | 井川町 | 潟上市飯田川 | 潟上市昭和 |
|----|------|-----|--------|-------|
| 火災 | 0    | 1   | 1      | 2     |
| 救急 | 198  | 189 | 146    | 222   |
| 斎場 | 79   | 80  | 70     | 93    |
| 動物 | 31   | 16  | 23     | 19    |

# 請願・陳情

| 受理番号 | 件名 | 住所   | 氏名                             | 件名   | 付託委員会 | 本会議結果 |
|------|----|------|--------------------------------|--|-------|-------|
| 4    | 陳情 | 仙台市  | 国土交通省管理職ユニオン東北支部<br>執行委員長 堀井 寿 | 安全安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める陳情書 | 民生産業  | 採択    |
| 5    | 陳情 | 八郎潟町 | 湖東病院を守る住民の会<br>齊藤 久治郎          | 湖東病院の機能正常化を求める陳情書                                  | 民生産業  | 採択    |



## 議会のうごき

### 4月

- 4日 消防団駆付訓練
- 7日 小・中学校入学式
- 8日 幼稚園入園式
- 19日 戦没者追悼式
- 21日 例月出納検査
- 26日 南秋町村議会議長会臨時総会

### 5月

- 12日 秋田県町村議会議長会理事会 (市町村会館)
- 16日 八郎潟小学校大運動会
- 17日 例月出納検査
- 18日 秋田県町村等監査委員協議会定期総会・研修会 (五城目町)
- 18日～19日 第35回町村議会議長・副議長研修会 (東京都)

### 6月

- 2日 議会運営委員会、広報編集委員会  
八郎湖周辺清掃事務組合議会 (男鹿市)
- 6日 町民体育祭
- 9日～10日 6月定例会
- 15日 広報編集委員会
- 17日 例月出納検査
- 18日 広報編集委員会
- 20日 関東ふるさと会
- 24日 広報編集委員会
- 27日 消防団小型ポンプ操法  
競技会・規律訓練大会

### 7月

- 1日 議会だより104号発行



## 編集後記

史上初めてアフリカ大陸でのサッカーの祭典、ワールドカップが開幕。この南アフリカ開催を最も強く望んだひとり、ネルソン・マンデラ氏だという。アパルトヘイト(人種隔離政策)に反対し、約20年間孤島の獄中生活にあつても改革を訴え、その後初の黒人大統領となったリーダーで「W杯で国を変えたい」と国際サッカー連盟の共感を呼び、賛同を得て、夢を追いかけた。

さて、我が国のリーダーだが入れ替わりが激しい。「国全体の将来を考え、改革を進める大きな政治的リーダーシップが欠如している」と「与党・野党の壁を越えた国民的議論が必要である」などと新首相の所信表明演説。もとより「マシラ政権」はあれだけ差別された白人との連立政権だったが、議会議だよりが発行される頃は、W杯準々決勝あたりか。前日本代表監督イビチャ・オシム氏曰く「リスクを負わない者は勝利を手にすることができない」「考えて走れ」と。結果はともかく、敏捷性など日本人の特性を生かした独自のサッカースタイルをみたいものである。(ふみと)

### ◆議会広報編集委員会

- 委員長 北嶋 賢子
- 副委員長 菊地 文人
- 委員 近藤 美喜雄
- 小島 山金 留吉
- 戸野 山金 留吉